

文化・交流—新しい地域創造

ロゼ

文化情報誌 ロゼ

Art information of Fuji city **Vol.15**
SPRING
Culture Magazine R O S É 1996

春号



ROSE
THEATRE

vol. 15

ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 1996年4月発行 (第15号)
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416 富士市藤原1307番地の8 TEL (0545) 60-2510(代)
企画・編集・製作 (財)富士市文化振興財団事業課広報係 アドスペース エービック株式会社 アタゴオル

記念イベントは豪華!! 多彩!!

平成八年度は、富士市市制三十周年とともにロゼシアター開館三周年に当たります。このことから両方の記念日となる十一月一日を中心に記念事業として七本のイベントを計画しました。各イベントの一つ一つに質・内容とも最高のものをと、充分に吟味を重ねて企画しましたので、大勢の皆さまに心から楽しんでいただけるものと確信しています。この秋には、是非ご家族とともにお好みの公演にお運びいただきたく、ご案内いたします。

「本格オペラをロゼで、に於て、音楽の国チエコからブラハ国立歌劇場来演！」

ブラハ国立歌劇場 「魔笛」(日本語字幕)

10月26日(土) 大ホール
開場/17時45分 開演/18時30分
演出 ラヂェスラフ・シュトロフ
指揮 ヒラリー・グリフィス
「ブラハ国立歌劇場管弦楽団・合唱団・バレエ団」
上演時間: 約2時間30分(序曲、第一幕、第二幕)



ブラハは、モーツァルトにとっても縁の深い街。一九八六年にオペラ「フィガロの結婚」を熱狂上演し、八七年にブラハ劇場支配人の依頼で「ドン・ジョバンニ」を作曲、自らの指揮で同劇場で初演しています。そんな関係から、ブラハの人々がモーツァルトに寄せる想いは、ウィーンやザルツブルグの人に劣らず熱いものがあります。この「魔笛」はモーツァルト晩年の作で彼のオペラの集大成の価値があり、以後ドイツ・オペラの発展に大きな影響を与えています。内容は一般にもよく知られているように、旅の王子タミーノが、夜の女王の娘パミーナを救出すため鳥刺しのババゲーノを従えて、ザラストロの殿堂へ赴く、そこで僧侶たちの理想に共鳴し、数々の試練を乗り越え、タミーノはパミーナと、ババゲーノはババゲーノと結ばれる、といった筋書のおとぎ話です。ファンタジーあり、博愛を謳う教訓劇でもあり、オペレッタ的要素が加味された歌芝居の趣もろくがえ、全二幕を通じてのドラマ構成の質の高さはピカ一とされています。初めてオペラを見る方にも最適と言え、演目です。

「さらめくストリングス」でお馴染みのカラベリがロゼに登場!!

カラベリ グラランドオーケストラ

11月16日(土) 大ホール
開場/17時45分 開演/18時30分
曲目(予定)
「ある愛の詩」(シエルブルの雨傘)
「黒い瞳のナタリ」 「愛の賛歌」 「エリーゼのために」他



四十年近くにわたって第一線で活躍するボツ・オーケストラ界の大御所「カラベリ」。本名クロード・ヴァゾーリと言ひ、一九三〇年パリ生にまれ、十代の頃からピアノ、サクソスを奏し、十七歳の時名門パリ国立音楽院に進み音楽を学んだ本格派です。一九五七年に初めてオーケストラを持ちシャンソンの曲を演奏していましたが、後にレパートリーを広げクラシックからポップス、映画音楽、ミュージカル、ラテンなど、さまざまなジャンルの音楽を華麗なサウンドで披露するようになりました。マントヴァーニを意識しながら独自のスタイルを作り上げ、ポール・モーリアやレイモン・ルフェーブルのオーケストラとは異なるカラーで小気味よいイージー・リスニング音楽を演奏してきたカラベリ。かつて「カラベリ」ときらめくストリングス」の名で活躍していましたが、七七年から「カラベリグラランドオーケストラ」と改称、よりフレッシュな感覚で音作りに取り組んできています。今回八年ぶりとなる来日コンサートですが、「クラシックのレパートリーが増えるかもしれない」ということも話しており、フランス風のオシャレなアレンジで秋の夜を楽しませてくれることでしょう。

演劇ファンには井上ひさし作品の最高傑作を!

こまつ座公演「雨」

12月13日(金) 中ホール
開場/18時00分 開演/18時30分
井上ひさし作、木村光一演出
全2幕 上演時間3時15分(15分休憩)
出演 辻萬長、三田和代、たかお鷹、村田吉次郎他



この作品は井上ひさし(こまつ座付作者、作家劇作家の傑作中の傑作と称せられ、その完成度の高さとともに)も多くの上演回数を誇る作品です。

〔あらすじ〕

諸国から流れ込む食い詰めの掃きだめ「江戸」古釘や古銅鉄を拾ってうろつき歩く金物拾いの「徳」、春雷轟く或る日の午後、雨宿りに入った両国橋の下で、迷い込んできた浮浪者から「これは紅屋の旦那様...!」と声をかけられた。初めは「ふん」と鼻先であしらっていたが、そのうち「徳」の心の奥底で何かが微かに動きはじめた。江戸から北へ百里離れた、とある城下で一番の身上持ち、紅花問屋の紅屋の主と自分が生き写し、しかも主人は行方不明という。さらに主人の帰りを待ちわびている女房の「おたか」は後光のさすような美人だという。このとき、うだつ上がらない「徳」は生涯一度の大勝負に打って出ようと心に決めた。人は果たして他人になりきれぬのか...。しかし、この時とつてもない謀略が張りめぐらされていた...

ロゼ定番の世界最高のクラシックバレエ再度登場!

キエロフ・バレエ 「眠れる森の美女」

12月19日(木) 大ホール
開場/17時45分 開演/18時30分
芸術監督: オレグ・ヴィンogradov
管絃楽: サンクトペテルブルグマリンスキー劇場管絃楽団
上演時間: 約2時間30分



平成五年の十二月に会館オープンの特別プログラムに來演したキエロフ・バレエ団。「くるみ割り人形」を上演し、満員の観客を興奮と感動の渦に巻き込んだのは記憶に新しいところです。

今回そのキエロフ・バレエ団が「眠れる森の美女」をもって來富します。この演目は彼らが十九世紀末に世界で初めて上演したグラランドバレエ絶頂期の最大傑作です。キエロフ・バレエのダンサーは、キエロフ劇場で初演されて以来100年を越えて洗練を重ね、息をのむばかりのコールド・バレエを見せてくれます。この公演で私たちが目のあたりに出来るのは、華やかな宮廷絵巻、パドシスやワルツ、幻想のシーンにおけるダンスシーンの美しさなど、世界でも随一と言われているものです。大人も子供も楽しめる物語はフランスの童話作家シャルル・ペロの「昔ばなし」から脚色したオーロラ姫と王子様の愛の物語で、大勢の妖精、魔法使いの登場など夢のシーンの連続です。また前回驚嘆の声が出た舞台装置の美しさは、今回さらにスケールアップされてロゼの舞台を飾ります。

いじめごっこ

早いもので、ロゼシアターがオープンし、3年目の春を迎えました。お陰さまで、実に多くの皆さまにおいでいただき、富士市の文化コミュニティの中核施設としてその責任の一端を果たすことができました。ありがとうございました。

財団では、オープン以来「豊かで潤いのある市民生活の演出」をキャッチフレーズに、自主公演事業を積極的に展開してまいりました。その結果、上演数は海外からの招聘公演も含め今日までに100公演を越え、富士市民はもとより近隣市町村からも多くの「ロゼファン」を獲得することができました。

さらに、市民ミュージカルやオペレッタなど市民自らが集い、企画し、演じる市民文化活動が大きな盛り上がりを見せ、全国的な注目を集めました。こうしたさまざまな市民活動などにより、昨年10月には会館利用者が100万人を突破し、市民の皆様からも暖かい励ましや、高い評価をいただきました。

さて、今年には会館オープン3周年と重なるように富士市も新市施行30周年の節目に当たります。この節目の年を記念いたします公演は、当市で初のオペラや毎回人気の高い「バレエ」など盛りだくさんありますが、特に注目いただきたいものとして、財団独自の企画事業をご紹介します。

開館以来、舞台芸術の素晴らしさを青少年へと、その普及に力を注いでまいりましたが、本年は視野を世界にまで広げてもらおうと「富士青少年国際音楽祭」を企画しました。生活に育まれた音楽文化の交流が、青少年相互の理解を深め芸術文化の向上と国際平和の礎となることを願ってのイベントです。

また、合唱付きピアノ協奏曲「見よ 西風からの富士」は、作曲を三枝成彰氏にお願いした富士市のオリジナル曲で、オープン時に市民合唱により高らかに歌い上げられ、大きな反響を呼びました。そこで、30周年を期に再びあの感動を呼び起こし、富士市民の心を永く歌いついでいくきっかけとなればと企画いたしました。

私ども財団は、全国に誇れる施設と活発な市民活動など、豊かな文化資源を最大限に活かし、さまざまな可能性との出会いの場として皆様の中で生き生きと躍動し続けるロゼシアターを目指してまいります。今後とも皆さまの一層のご愛顧をお願いします。



(財)富士市文化振興財団 理事長 鈴木清見

〈富士市新市施行30周年記念〉若い人からお年寄りまで
NHK「のど自慢」公開番組
平成9年2月2日(日) ロゼシアター大ホール

- 入場者(聴衆)募集 平成8年12月中旬~平成9年1月中旬
 - 出演者募集 平成8年12月中旬~平成9年1月中旬
 - 予選会 平成9年2月1日(土)
 - 本選(本放送) 平成9年2月2日(日)
- ※詳細は後日「ロゼ」、「ロゼイベントニュース」等でお知らせします。

市民合唱の夕べ

「見よ西風からの富士」

11月1日(金)

●ロゼシアター大ホール●
●開場18:15 ●開演19:00

■出演：堤 俊作(指揮)・静岡交響楽団・富士市民による合唱団 他

今回ここに紹介する各公演はすべて財団のオリジナル企画です。財団スタッフが来演者側と時間をかけて話し合い、信頼関係の中から生まれた企画で、手作りの温もりがにじみ出る公演だと自負しています。特に「富士青少年国際音楽祭」と市民合唱「見よ西風からの富士」は周年記念事業として市民の皆さまの関心と呼ぶものとして期待されます。

今回ここに紹介する各公演はすべて財団のオリジナル企画です。財団スタッフが来演者側と時間をかけて話し合い、信頼関係の中から生まれた企画で、手作りの温もりがにじみ出る公演だと自負しています。特に「富士青少年国際音楽祭」と市民合唱「見よ西風からの富士」は周年記念事業として市民の皆さまの関心と呼ぶものとして期待されます。

ロゼシアターのオープンに際し、富士市が作曲家三枝成彰さんに依頼した合唱付ピアノ協奏曲「見よ西風からの富士」、平成六年一月に大ホールで初演され大好評でした。今回、新市施行三〇周年とロゼシアター開館三周年を記念して再演いたします。

財団では今年一月に新たに市民から合唱団員を募集、すでに練習を開始しており、富士山が出来ていく過程をイメージしたといわれるこの曲の公演は富士市誕生記念にまことふさわしいものといえます。

またこの日は同じステージで富士市出身の新進作曲家大村久美子さんの作曲の「RETICULATION」が演奏されます。この曲は一九九四年第一回「入野賞」オーケストラ作品の入賞曲となっており、昨年四月オーケストラ作品で新日本フィルにより初演されています。大村さんは富士市鷹岡出身で一九七〇年生まれ、九四年東京芸術大学を卒業、九五年よりドイツのフォルクバンク音楽大学に留学して作曲を勉強している将来を期待される女性作曲家です。オーケストラは堤俊作氏指揮(前回と同様)の静岡交響楽団です。

〔注〕入野賞：一九九〇年入野義明氏(作曲家)の遺志により設立、オーケストラ作品、室内楽作品を対象に賞が贈られている。世界的公募による作曲コンクールとして水準の高さは定評があり、第十五回は各国から六十九曲の応募があった。



▲静岡交響楽団



▲大村久美子さん

ロゼシアターの特徴のひとつに自主企画による催し物があります。開館以来、毎年四十本近い自主事業を企画し、皆様にお届けしていますが、この中にはパッケージ物(最初から内容が決まっている公演)のほか財団独自の企画物がいくつもあります。富士市の文化を育て、向上させていくにはどのような催し物があるか、常に模索しながら進めてきました。

富士青少年国際音楽祭
THE FUJI INTERNATIONAL YOUTH MUSICAL '96
9月5日(木)→8日(日)
●ロゼシアター大ホール・他●



▲シンガポール NUS SYMPHONIC BAND

- 出演団体
- アメリカ
コロラド大学(オーケストラ).....43名
 - ニュージーランド
AOTEA YOUTH SYMPHONY(オーケストラ).....61名
 - シンガポール
SIOC(民族音楽).....40名
NUS SYMPHONIC BAND(吹奏楽).....67名
 - チェコ共和国
PERMONIK(合唱).....45名
 - 日本
富士市内高校選抜(吹奏楽).....60名

本誌Vo.13(昨年の秋号)に概要をお知らせしました富士青少年国際音楽祭は、その後各国から応募が相次ぎ嬉しい悲鳴を上げる結果になりました。今年に入ってから審査を行い出演を五団体に絞り、招へい通知を送ったところ、アメリカをはじめニュージーランドなど出演団体の演奏種目は、オーケストラ、吹奏楽、民族音楽、合唱と多岐にわたります。これに富士市内の高校選抜(吹奏楽)を加え、六団体が音楽祭を華やかに彩ります。

この時期、音楽祭に出演する海外からの団員は総勢二五〇名を越え富士市はまさに国際都市。市内ではコンサートのほか歓迎会、観光など様々な行事が計画され、ロゼシアターを中心に若い国際音楽家たちが街にあふれ出ることでしよう。本誌では次号で詳細をお知らせする予定です。

ロゼ開館3周年
富士市新市施行30周年記念
ほかでは聴けない、見られない...
ロゼ・オリジナル
特別企画

ロゼイヴニングコンサート

●新シリーズ●

音楽の都をたずねて



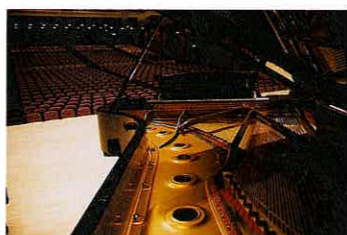
第1夜
イタリア

1996. 5月30日(木)
●ロゼシアター 小ホール
●開場18:30 ●開演19:00

ヴァイオリン発祥の地イタリア、17~18世紀前半にかけてヴァイオリンはこの国で作られ完成されました。私たちにカンツォーネ、ナポリ民謡、ゴンドラなどでお馴染みですが、ヴァイオリンの世界的名器と言われるものはすべてイタリア製です。この楽器は4絛の高音域絛奏器で、音色は人声のソプラノに近く、音性が豊かで美しく、そして人間のあらゆる感情を微妙に表出する機能を完全に具える楽器とされています。現在では楽器の王様としてクラシック音楽の中心となっているヴァイオリンですが、17世紀の初め、低音域楽器ヴィオラなどと組んでバロック音楽が盛んに演奏されました。イタリアはクラシックの前身となるそのバロック音楽の誕生の国とされています。ヴァイオリンなど絛奏器をベースにした合奏が特徴のバロック音楽ですが、イヴニングコンサート第1夜は「四季」で知られるヴィヴァルディー、またヴァイオリンの弓の改良を行い、現在の軽い弓を作り上げたタルティーニ、そして19世紀の最も代表的なヴァイオリン奏者で作曲家のパガニーニなどイタリアが誇る世界的作曲家3人の作品を中心に演奏されます。演奏者はヨーロッパの各コンクールで数々の賞に輝いているミハイル・ワイマン(M)、ディーナ・ヨッフエ(D)さんご夫妻です。



- 出演
ミハイル・ワイマン(ヴァイオリン)
ディーナ・ヨッフエ(ピアノ)
●曲目
ヴァイオリン・ソナタ イ長調(ヴィヴァルディー)
イタリア組曲(ストラヴィンスキー)
ヴァイオリン・ソナタ 長調「悪魔のトリル」(タルティーニ)
24の奇想曲作品1-20、21、24(パガニーニ)



第2夜
フランス

1996. 8月2日(金)
●ロゼシアター 小ホール
●開場18:30 ●開演19:00

第1夜のイタリアがヴァイオリンの国とするならば、フランスはピアノが似合う国といえます。この国の音楽はまことになめらかなで、軽妙洒脱、そして優雅、節度のあるフランス語と呼吸し合うかのようなところが、日本でも人気のあるサティ、ドビュッシーなどの音楽にその一面が感じられます。フランス音楽をひと音で表現するならば、モネに代表される印象派の流れが音楽になっているといえるでしょう。

フランスを代表する作曲家のひとりであるドビュッシーは、19世紀の後半、パリ在住の象徴派詩人、画家などから多くの影響を受け、当時彼らが作った曲は多岐にわたる描写音楽の要素を濃く残していました。第2夜で演奏される曲は、このドビュッシーをはじめ、歌曲、ピアノ曲に優れた作品を多く残しているフォーレ、また「ボレロ」で一躍世界に名をはせたラヴェルの作品がとり上げられます。いづれもフランス音楽をたしなむには恰好の作曲家ばかりです。特にこの夜来演するピアニスト上田晴子はフランス在住でパリ国立音楽院で伴奏者、室内楽助教授を務め、フランスもののピアノ曲を弾かせた第一人者ですので、きっとお楽しみいただけるでしょう。



上田 晴子

- 出演
上田晴子(ピアノ)
●曲目
夜想曲(フォーレ)
版画、前奏曲より(ドビュッシー)
クープランの墓(ラヴェル)



第3夜
ロシア

1996. 12月24日(火)
●ロゼシアター 小ホール
●開場18:30 ●開演19:00

ロシアという国は、昔から貴族支配という特殊な環境下にあったためヨーロッパ文化との交流が遅れていました。しかしその反面、他国と全く異なる独自の音楽が誕生しています。それは民族音楽とよばれるもので、民衆生活から生まれ、歌いつがれてきたものです。私たちがロズさんが「トロイカ」「ヴォルガの舟唄」などロシア民謡もその流れをくむもので、この国の歴史を知るうえで貴重な音楽といえます。18世紀前半にはイタリアオペラが輸入され、芸術音楽というジャンルが確立され、ヨーロッパ文化と共通するロシア音楽が開花しました。このようなことからロシアは世界最初の国民音楽発祥の国として、知られています。その後、民謡と芸術音楽とを調和させて編曲する方法がこの国の作曲家によって進められました。

第3夜のステージで演奏されるチャイコフスキーのドムカはウクライナ民謡の一種です。このほかラフマニノフの「ロマンス」、この曲はやはりチャイコフスキーの流れをくみ、哀愁を帯びた叙情性と豊かな旋律に富んだ作品です。そしてロシア国民音楽の大家リムスキー=コルサコフの歌劇「金鶏」とそれぞれ魅力的なプログラムが組まれています。演奏は昨年続いでフェーゲン、アッシュケナージ夫妻が出演しますので大いに期待されます。



グリゴリー・フェーゲン エレナ・アッシュケナージ

- 出演
グリゴリー・フェーゲン(ヴァイオリン)
エレナ・アッシュケナージ(ピアノ)
●曲目
ドムカ/ワルツ=スケルツォ(チャイコフスキー)
ロマンス作品6(ラフマニノフ)
歌劇「金鶏」のテーマによるファンタジー(リムスキー=コルサコフ)



第4夜
オーストリア

1997. 3月6日(木)
●ロゼシアター 小ホール
●開場18:30 ●開演19:00

オーストリアの音楽と言えば、ドイツ音楽に含まれるのが普通です。現在世界のクラシック音楽の中心地となるのが、ドイツ・オーストリアであることに誰も異論はないでしょう。バッハ、ヘンデル、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト...と、17~19世紀にかけて星の如く並んだ大作曲家たち、このすべての人がドイツ、オーストリアから誕生しています。ハイドンはオーストリアに生まれ、ヨーロッパ各地を回りながら交響曲、ピアノ曲、室内楽など膨大な数の曲を作曲し、古典派の中心人物として優れた作品を残しました。

モーツァルトはあまりにも有名な人物であり、あらためて記述するまでもない音楽史上最も天才作曲家です。シューベルトはウィーンで生まれ、歌曲に優れた曲を作り「歌曲王」と呼ばれていましたが、交響曲、ピアノ曲、室内楽にも素晴らしい作品がたくさんあります。この3人もウィーンで亡くなっているのが象徴的なこととして特筆されます。オーストリアのウィーンといえばJ・シュトラウスIIに代表されるウィンナワルツが一般的ですが、第4夜は上記3人の古典派、ロマン派音楽に焦点をあてた密度の濃いステージとなります。



クラウス・シルデ

- 出演
クラウス・シルデ(ピアノ)
●曲目
アンダンテと変奏曲 へ短調(ハイドン)
ファンタジー 八短調K.V.475(モーツァルト)
ソナタ 八短調K.V.475(モーツァルト)
4つの即興曲 作品90(シューベルト)

ギターの浪漫

2月24日(土)~3月3日(日)

●ロゼ・楽器の浪漫シリーズ●

ロゼシアター企画展示新シリーズ「楽器の浪漫」。第一回はギターの魅力について徹底的に追求した今回の企画。ギターファンにとってはたまらない展示内容となりました。

《レクチャーコンサート》演奏・お話 小山勝

「ギターに携わる者からいいますと、今回のように公共機関がギターに関する催しをやってくださることは大変うれしく思います。」と一言。だれでも知っている楽器「ギター」の500年以上に渡る歴史について、実際にリュート・ピウエラそれに野辺氏制作のギターを演奏しながら解説していただきました。

↑《制作・列品解説》野辺正二

「ギターは同じ工程で作っても一つ一つ形も違えば音色も違います。それは私達人間と同じようにギターも生きていますからです。」と木のぬくもりのような人柄を感じさせる野辺さんのお話でした。

←《ミュージアムコンサート》掛布雅弥

掛布マジックとも言うべき高度なギターテクニックを披露していただきました。ラストの曲、ドメニコ二作曲「ココンバ」では変調されたギターの音色に会場は魅惑の世界へ迷いこんだかのように思え、来聴者もミュージアムコンサートならではの演奏を満喫していました。

・本日初めて参加しましたが県内でもこの様な企画・催しが少なく是非継続していただきたい。(浜松40才男性)
・ギターの制作工程を見る機会はずっとない。本当に良い機会にめぐまれたと思う。(富士川43才男性)



●春風亭小朝独演会 3月9日(土)

・高齢者が多くなってきましたので、この様なお笑いの公演をふやしてください。(富士58才男性)
・チケットが手に入ってからこの日が待ち遠しかったです。(富士63才女性)
・ロゼに来るたびに心が豊かになってゆくように思います。(富士20才女性)



●ソウルユース・フィルハーモニック・オーケストラ 1月20日(土)

・初めて韓国の方の演奏を聞きましたがとても温かく、強さがあり親しみを感じました。機会があったらまた聞きたいです。(富士20才女性)
・ステキな団員たちに「고맙습니다(ありがとう)の言葉を... また会えるチャンスがくる事を...」(富士42才女性)



●ロゼ・アフタヌーンコンサート「パンフルート&ギター」 2月25日(日)

・現在第2子妊娠中で少レイライラしがちですが久しぶりにゆったりした気分になりました。ありがとうございました。(富士30才女性)

●音楽座ミュージカル「マドモアゼル・モーツァルト」 3月16日(木)

・たぶん公演後は泣いちゃって喜ばないで今書きます。静岡での公演はロゼでやらなかったら行けなくなるところでした。ありがとうございました。(静岡16才女性)
・座席の背もたれがおしゃれ。クッションの色がきれいだし、ロビーが広くて気分が良かった。道っかけでするので感想は良いに尽きる。(豊橋20才女性)
・今日、このために名古屋から来ました。とてもキレイなホールですね。席もよかったです。今日は本当に満足しています。(海部郡24才女性)



●御喜美江アコーディオンコンサート 3月21日(木)

・あの、御喜さんに私の育った町でお会いできるなんて、夢のようです。(東京27才女性)
・最高の奏者の音楽会を開催してくれたロゼにありがとうを云わせて下さい。(富士50才女性)

感動のトルネード

平成7年度10月から3月までのロゼシアター自主事業、各公演ごとのアンケートに記入された感想をご紹介します。感動との出会いを綴ってみました。

※サインは出演アーティストからいただいたものです。

●フランス・レイオーケストラ 11月10日(金)



・何十年前にタイムスリップし若返りました。音楽・スクリーン・歌と三つも楽しめ、いい夜でした。(富士50才女性)
・あの頃のときめいた気持ちがよみ返ってきます。また機会があったら今度は主人を誘って...。(富士42才女性)

●アルフィーコンサート 11月15日(水)

この夜ロゼは白夜~byakuya~と化し若者たちは幻夜祭に酔いしれた。桜井さん！富士山のための一曲ありがとうございました。高見沢さん！ピック後ろにも投げて。幸之助さん！また来てください。



●エムパイヤ・プラスコンサート 10月1日(日)

・本当の音楽を知り、あまりのすごさに涙が出ました。(富士17才男性)
・岐阜からロゼに足をばこんで本当によかったと思います。(岐阜20才女性)



●さだまさしコンサート 10月5日(木)

日本の風土の美しさ、日本人の心のすばらしさをステージいっぱい表現し、私達にメッセージを伝えたさだまさしさん。楽しいおしゃべりと情緒豊かなヒット曲の数々で今宵ロゼはさだワールドに染まりました。

●ロゼイブニングコンサートIII「チャイコフスキー」 10月19日(木)

・仕事帰りの疲れた体がいやされました。(富士20才女性)
・ピアノ三重奏曲、生で聞くのははじめて、感動致しました。(富士70才女性)



FLASH BACK 1995.10 - 1996.3

ロゼを直撃!!

●福島泰樹 短歌絶叫コンサート 11月24日(金)

・絶叫とはまさにこのことだったんだと...納得です。(富士40才男性)
・興味本位で来ましたが、想像以上に感動しました。ロゼの催し物っていつもそうですね。(富士130才女性)



●ロゼイブニングコンサートIV「プッチーニ」 12月15日(金)

・ホールの施設・設備は大変すばらしい。音の響きもよく、多くのホールへ入りましたが最高の部類に属すると思います。(豊知東62才男性)
・ロゼが出来た事を感謝しています。老人ですので都会に行くのに大変でした。(富士86才)

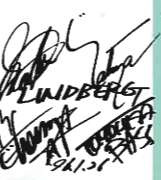


●静岡県芸術祭優秀作品展 12月6日(水)~17日(日)



●リンドバーグコンサート 1月26日(金)

年明けのパワフルコンサート！年末のテレビ出演でのエピソードが盛り上がり「もっと愛しあいましょう」では会場全員で振り付けをするなど、ボーカル渡瀬マキちゃんもロゼでのコンサートを満喫したようです。



●静岡の美 1月6日(土)~15日(月)

・静岡にたくさん素晴らしいところがあると感動しました。(名古屋67才女性)
・栃木県から見にきました。素晴らしい絵ばかりです。(宇都宮30才男性)

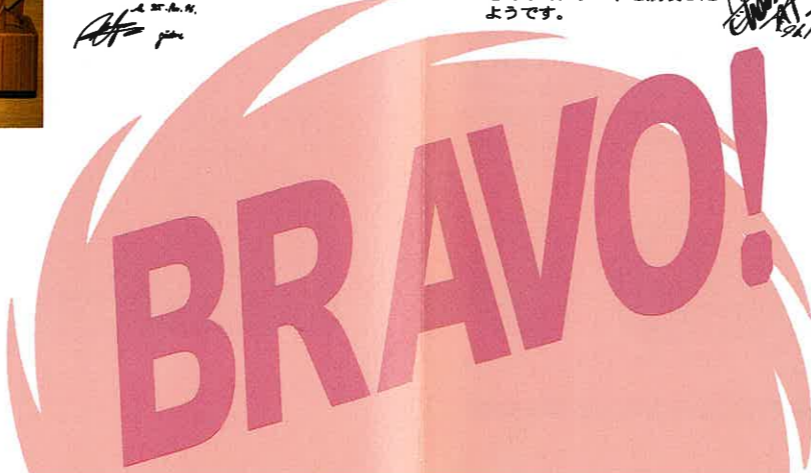
●松竹歌舞伎 10月30日(月)

・日本芸能第一の歌舞伎を近くで見られる事、光栄です。中村勘九郎さん親子歌舞伎見たいと思います。(富士50才女性)
・このような芸能を地元で見れることを大変幸せに思います。(富士53才女性)



●フランクフルト放送交響楽団 11月1日(水)

・まさか富士でフランクフルト・バイナールのマーラーが聴けるとは思わなかった。(富士宮23才男性)
・非常にまとまった音だった。初めてだったがホールも非常に良かった。(浜松43才男性)
・マーラーを一生に一度聞きたいと思っていたがロゼシアターで聴けるとは、本当に見事でした。(富士53才男性)
・プログラムもアンコールのない所も都合いい。ロゼシアターの公演に来たのはざっと数えても40回以上アクトシティに負けないで！(富士23才女性)



親子でやる歌舞伎、ぜひ見てほしい。

大衆の中から生まれ、大衆に支えられ、常に新しいものに挑み、吸収して発展してきた歌舞伎。この四百年の歴史を持つ日本を代表する古典芸能は、現在もその担い手たちの様々な活動と工夫により、私たちの心を捉えて離しません。今日の歌舞伎界の第一人者として活躍中の中村勘九郎さん。彼と二人の息子さんによる「親子競演会」もこうした活動の一つとして、全国の歌舞伎ファン層の拡大に大きな成果を上げています。そこで、来る六月一日のロゼシアターでの公演を前に、勘九郎さん一家の歌舞伎にかける情熱の一端をお話いただきました。

(聞き手：(財)富士市文化振興財団芸術委員 矢部良雄)

勘九郎さんの初舞台は昭和三十四年とありますが、私たちの街の公立の会館で初の歌舞伎公演が催されたのが昭和三十七年でした。その時、来演されたお父さまの勘九郎さん、雀右衛門さん一行が、当方の無理なお願いを快くお聞き届け下さり、「臺板」、「娘道成寺」、「身替座禪」の三本を演じ素

晴らしい舞台上で大入り満員だった思い出があります。そんな縁のある富士市で勘九郎さんの名舞台を拝見させていただくこととなり、大変期待をしております。

今回の、勘九郎親子競演会を始められた経緯は…

経緯については「親子でやる歌舞伎」というものを地方の皆様にも是非見て頂きたいと始めました。始めて三年半ぐらいいになります。

勘九郎さんご自身、勘九郎親子競演会をおやりになったことはありますか。親子で同じ舞台上で競演することは、ひとつの理想が実現したもので、うらやましい限りです。普通の家庭では、なかなかできないことですね。それだけに稽古は厳しいものと伺ってますが、父勘九郎と親子競演会をやったことはありませんが、おっしゃる通り稽古は親子と言えども、とても厳しいものです。

勘九郎さんは、多種多様な役柄を演じられ素晴らしい成果を上げられておりますが、敢えてお伺いします。時代物、世話物、新作物の中でどれがお好きですか。また、好きな役柄をおしえて下さい。

時代物、世話物、新作物どれも歌舞伎はみんな好きです。それと違った良い所がありますので…好きな役柄(演目)は、みんな好きなんですけど、特に中村屋として父からの「髪結新三」「俊寛」「鏡獅子」「連獅子」などが好きですね。



歌舞伎を鑑賞する機会の少ない地方で、歌舞伎ファンを増やすよい手だてがありましたらアドバイスをお願いします。

アドバイスとは言えませんが、とにかく一度見にいらして下さい。今回「越後獅子」は子供達がやります。その稽古は今既に始めています。富士の皆さんにこの機会に是非見に来て頂きたいですね。その他今回の演目、「式三番叟」、「船弁慶」も楽しみです。

どの演目も一生懸命動める所存でございますので、是非見にいらしてお楽しみ下さい。

お忙しいところ、どうもありがとうございました。

ドイツ・ケルンの外国文化会館を考える

外国文化の受容に伝統的に寛大である大都市ケルンには、八つの外国文化会館がある。

ドイツで四番目の大都市ケルンは歴史的に外国との関わりが深く、外国文化の受容に関しても伝統的に寛大である。

一九八七年の完成以来、ドイツで最も採算の取れるコンサートホールに数えられている「ケルナーフィルハーモニー」は、年間四百回以上のコンサートを開催している。また、国内失業者四百万人以上の不況時にドイツで最大規模の多目的ホールの着工が認可された。

このような文化的土壌を背景にケルンには八つの外国文化会館がある。「ザ・ブリティッシュ・カウンシル(英)」、「写真」、「アメリカ・ハウス(米)」、「フランス文化会館」、「イタリア文化会館」、以下ベルギー・トルコ、東欧の各文化会館である。



イタリア文化会館ホールの催し物

興味深い、各国の文化会館設立当初の動機の違い。

米国は、新聞・雑誌・書籍等資料からの情報提供や、自由討論のフォーラムとしての機能を持たせる方法で民主主義の定着を目的として出発した。終戦時荒廃したベルリンを視察したトルーマン大統領のイニシアチブによる。

英国もナチのプロパガンダに文化パワーで対抗し、不安を取り除こうという目的であった。仏・伊は、より積極的な国の文化政策の一環として位置づけた。その国の魂である芸術作品を外国に紹介するというプロパガンダと文化をミックスさせたやり方は、対外政策上、国の要求と目的達成に大変効果的であるとの考えから出ている。

援助、情報伝達の推進など共通した活動を意味する。

日本は他国より遅れたが、ドイツからの要請もあり、吉田首相と縁があったローマとケルンに設立された。今年、パリにも設立される。欧米のパワーポリティクスは、欧米から個人レベルの関係に至るまで、日本や欧米以外の国や国民は欧米の「パワーポリティクス」に振り回されている。かつて、ソ連を敵とする軍事同盟を結ぼうとしていた矢先に、そのドイツは独ソ不可侵条約を締結したり、日本人が部下のドイツ女性に仕事上の注意をしたら、翌日医師から病気の診断書を取り戻したり、日本人の妻であったドイツ女性が、不倫のあげく突然離婚を宣言し、月々の収入の半分を要求して出て行ったとか、例は多い。

日本の外交政策上の主義主張が明確であれば、パワーポリティクスにも対応できるし、また館と芸術家間の関着も避けられよう。この背景には芸術家の社会的責任の問題がある。芸術家がこの点を意識しているか否かは彼の運命を左右する。反ナチを買ったM・ディートリヒと芸術的記録映画の制作でヒトラーのプロパガンダに奉仕してしまったリリーフエンシユ

☆ケルンの外国文化会館比較表

国	館長名	創立年	数		管轄	重点活動に付随した特長的活動		
			独	世界			ケルン	ドイツ
日	清水陽一	1969	1	18	67	240	日本政府(国際交流基金)	ドイツのパートナー確立
英	W.キース・ブロン	1959	5	228	25	1,160	民間(英政府援助)	科学専門分野の学術交流
米	サンドラ・カイザー	1955	6	-	50	1,100	米政府所属の独立機関	情報提供の充実化
仏	ジャン・ミシェル・フェリン	1952	24	150	35	500~1,000	仏政府	仏現代芸術の紹介
伊	Dr.パオラ・バルボン(館長代行)	1952	7	80	200	6,500	伊政府	在独イタリア人援助

タールの例はその両極端である。国が政策上の一貫性を館の現場担当まで行き届かせているかという点が重要。

館の運営・機能において、ともするとコンセンサスのない官僚主義は問題を大きくしてしまう。英米スタッフの今回の取材への迅速かつ適切な対応には脱帽した。

日本の館長が「人と金が問題です」と言われるように、館への経済的制約は大きい。これは各国に共通している。こういう厳しい状況下において、特に日本の戦略に期待したい。

マンドリン製作・演奏家
内藤 閑喜
Yasuyoshi Naitoh ● PROFILE
富士市出身、現在ドイツ・ケルン市在住
海外のさまざまな文化情報を新しい切り口で取材し、レポートを送っていただいています。



アメリカ・ハウスの外観



日本文化会館と館長 清水陽一氏

内藤 閑喜



歌舞伎役者 **中村勘九郎** Kankuro Nakamura PROFILE

なかむら かんくろう/昭和30年、東京生まれ。本名・波野哲明、代敷・5代目、屋号・中村屋。昭和34年4月中村勘九郎で歌舞伎座『曾根桃太郎』の桃太郎で初舞台。昭和57年訪米歌舞伎、昭和58年訪米歌舞伎参加。平3年10月訪米歌舞伎参加。著書に「勘九郎とはずがたり」「勘九郎芝居ばなし」などがある。受賞歴昭和59年真山青果奨励賞。昭和63年名古屋演劇ペンクラブ年間賞「鏡獅子」。平成1年芸術祭賞、第十回松尾張能楽優秀賞、都民栄誉賞。平成1年4月歌舞伎座「髪結新三」新三で松竹社長賞。平成1年5月「髪結新三」新三で十三夜会賞。平成2年真山青果賞。平3年第七回浅草能楽大賞奨励賞。平成6年読売演劇大賞最優秀男優賞。

中村勘太郎 Kantaro Nakamura

本名・波野雅行 生年月日・昭和56年10月31日 芸歴・昭和61年1月歌舞伎座に於いて「盛綱陣屋」小四郎役で初舞台見得、昭和61年5月歌舞伎座「髪結新三」丁稚役、昭和62年1月歌舞伎座に於いて二代目中村勘太郎襲名、襲名披露狂言は「門出二人桃太郎」

中村七之助 Shichinosuke Nakamura

本名・波野雅行 生年月日・昭和58年5月18日 芸歴・昭和61年9月歌舞伎座に於いて「壺」祭りの子勘吉役で初舞台見得、昭和62年1月歌舞伎座に於いて二代目中村七之助襲名、襲名披露狂言は「門出二人桃太郎」

CHECKLIST

☆1996年5月～7月・注目のロゼシアター情報☆
財団自主事業をはじめ一般貸出事業を含めた5月～7月のイベントスケジュールです。これを参考に、あなただけのスペシャルプランを作ってください。

1996 5 MAY		
日	曜日	イベント
1	水	小 西山工業株式会社創立記念式典
3	金	小 ピアノ・エレクトーン発表会(吉村美由紀)
4	土	小 WAOWAMOワンデイセミナー
11	土	中 明治生命労働組合沼津支部定期大会 小 ピアノ発表会(宇佐美照美)
12	日	中 東京児童劇場ぬいぐるみ人形劇 小 第22回小さな音楽会
14	火	小 COOPしおか富士行政区代表者会議
16	木	小 (社)富士青年会議所5月度公開例会
18	土	大 マルダイショー 小 ★青木裕子トークコンサートVol.2 ★ユニバーサルパレエ日本公演「ジゼル」全2幕
19	日	大 第9回富士マジッククラブ発表会 中 スプリングコンサート(ピアノ・声楽) 小 富士環境衛生自治推進協会総会 堀内佳コンサート
21	火	小 秋山パレエコンサート発表会
25	土	大 第20回コーラスフェスティバル 小 '96MAYコンサート
27	月	小 平成9年3月新規学校卒業予定者求人説明会
28	火	小 平成8年度富士市町内会連合会総会
29	水	小 ★華と尺八のコンサート「若夏音の音響」
30	木	小 ロゼイヴニングコンサート 第1夜～音楽の都をたずねて～

1996 6 JUNE		
日	曜日	イベント
1	土	大 中村勲九郎親子競演会 小 第13回旭化成クラシックコンサート
2	日	大 ★マルセルマルソー公演 小 ピアノ・エレクトーン発表会(吉野美知子)
5	水	小 ★トレバ・ワイ フルトリサイタル
6	木	小 富士市中学校体育連盟顧問会及び全体会
7	金	中 聖書講演会
8	土	大 聖書講演会 小 第6回びっころこんちえと
9	日	大 聖書講演会 小 ピアノ発表会(石井志保)
12	水	大 富士信用金庫・講演会
14	金	大 ブラハ放送交響楽団
15	土	中 高木産業(株)QCサークル決勝大会
16	日	大 静岡県歌謡グランプリ大会 小 ピアノ・声楽による発表会(鈴木ともえ)
19	水	小 KaVa san Trioコンサート
22	土	大 富士交響吹奏楽団第47回定期演奏会 小 ピアノ・エレクトーン発表会(佐々木由美子)
23	日	大 ★劇団ピッカリ座ぬいぐるみミュージカル「ふしぎの国のアリス」 中 実践倫理仕年のつどい 小 ピアノ・エレクトーン発表会(窪田早百合)
26	水	大 富士市立吉原商業高校演劇鑑賞会
29	土	小 池坊全国巡回講座
30	日	小 ピアノ発表会(古郡ピアノ教室)

1996 7 JULY		
日	曜日	イベント
3	水	中 建設業労働災害防止安全大会
4	木	大 小学生招待コンサート 小 オッペン化粧品(株)東海本部決起大会
6	土	大 ミルバ・ドラマティックリサイタル 小 湖山病院第3回公開講座
7	日	大 アニメイトクラブアニバーサリーラレー 小 若藤会おさらい会 小 ピアノ発表会(渡井麻理)
8	月	大 中学生招待コンサート
13	土	大 ★富士フィルハーモニー管弦楽団第15回定期演奏会 小 ピアノ発表会(瑠璃の会)
14	日	大 富士市女性夏期大学 中 富士断演会25周年記念大会 小 ピアノ発表会(川村陽子)
16	火	大 アメリカンパレエシアター
17	水	大 武蔵野音楽大学ウインドアンサンブル
20	土	大 びっくり箱コンサートIII 中 ぬいぐるみ劇団カッパ座公演「しらゆきひめ」 小 ピアノ・エレクトーン発表会(植田晴美)
21	日	小 ピアノ・エレクトーン発表会(井出佳織)
22	月	小 田子の浦港開港30周年記念事業
24	水	大 ニュー・スーザ・バンド公演
26	金	大 第30回小学校音楽発表会
27	土	大 ★小林幸子歌謡ショー
28	日	小 ピアノ・エレクトーン発表会(すみや富士本町店)
31	水	小 学年主任・研修主任・教務主任特別委員会合同研修会

はロゼシアター主催事業☆印は、ロゼ・チケットセンター窓口でもチケットを取扱う予定のもの。

展示室のご案内

展示期間	展示室	催事	展示期間	展示室	催事
5/1~12	一般・特別	静岡の美	6/28~30	一般	糸内田パッチワーク教室「フォルテ」第1回作品展
5/15~19	一般・特別	第48回富士市美術協会展	7/4~10	一般・特別	富士市退職教職員趣味の会作品展
5/23~27	一般・特別	富士の型染30周年記念展	7/12~14	一般	樹脂粘土でつくる四季の花展
5/28~6/2	一般	第4回パッチワークキルトハウス・ヌー作品展	7/12~14	一般	レーザーアート展
6/8~16	一般・特別	楽器の浪漫シリーズ「フルート」	7/19~21	一般・特別	平成8年度富士市展
6/20~23	特別	食卓とししゅう 花づくし	7/23~26	一般・特別	中学校美術展・市立幼稚園展
6/22~25	一般	'96アメリカンフラワー作品展	7/27~28	一般・特別	第22回花のシンフォニー展

※一般貸出館については、平成8年3月末までの受付分です。各ホールでのイベントや展示などの日程は変更になる場合があります。また、主催者の都合により一部記載されない催し物もあります。ご了承ください。

ROSE 掲示板

ロゼ秋号の取材スタッフ(中学生)を募集します!

対象:市内の中学生男女各1名
取材日:平成8年8月2日(金)
取材内容:コンサートでの1日追跡取材「ロゼネット」では、皆様のお便りを募集しています。
☆問い合わせ・あて先☆
〒416富士市藤原1307-8
ロゼシアター事業課広報係
TEL0545-60-2513 (FAX60-2505)

「お疲れさまでした...」(Y)
編集後記
今年の冬はいつになく厳しかった。ロゼが雪に囲まれたのは初めて。それだけに春の芽吹きが一層まぶしい。今年度は新市三〇周年・ロゼ三周年の年、忙しくなりそう。今号から本紙もチヨッピーイメーゼエンジ。若さあふれる編集にご期待を。郷土を愛しながら逝ったテイ・中村さんの冥福を祈るとともに市民参加のオペラに情熱を燃やす萩原明美さんの公演に幸多かれと願う。(一)

チケットのお申し込み・お問い合わせは
ロゼ・チケットセンター
☎0545-60-2500 受付時間 9:00~19:00

プレイガイド
■すみや ☎(0545)63-2233
■富士本町店 ☎(0545)60-4567
■富士中央店 ☎(0545)61-6262
■富士市センター ☎(0545)61-6262
■ラ・ホール富士 ☎(0545)53-4300
■チケットセンター ☎(0559)61-2405
■カワセ書店 ☎(0545)71-9592
■廣岡店 ☎(0544)24-7160
■ユニサービスカウンター 吉原店 ☎(0545)51-9027(代)
■富士宮大宮店 ☎(0544)24-0255(代)
■カガヤ楽器店 ☎(0545)52-1586
■最良野楽器 ☎(0545)51-5227

音板に残るマレットアーチ
ヴィブラフォンの
のタベ



富士市出身のジャズメン、故・テイ・中村さんから寄贈された、愛用のヴィブラフォンのお披露目コンサートが三月二二日、中ホールで開催されました。この日は、テイ・さんの追悼も兼ねてのコンサートで、友情出演の「内田晃一クインテット」はいずれもテイ・さんのバンド仲間だった皆さん。
演奏曲目は「枯葉」「A列車で行こう」などのスタンダードナンバーに加えて、メンバーが作曲した追悼曲「フォー・テイ」も演奏され、会場に響かせた満員の聴衆は、ヴィブラホンの柔らかく優しい響きとともに軽快なジャズの調べを心ゆくまで楽しんでいました。

生前のテイ・さんの意向でロゼに寄贈されたヴィブラフォンの「ティーン・ガン・オーラ」は、世界一のヴィブラフォンメーカー・ディーガン社の最高級品で、国内にも四〜五台しかない逸品。最後に夫人の洋子さんが「皆様のご好意と仲間たちによってこのようなコンサートという形になったと思います。」と聴衆に感謝の気持ちを伝えました。
テイ・さんの愛用したヴィブラフォン、これからロゼでセカンドステージのスタートです。
※マレットアーチ
長年の演奏で音板上に残るマレットのたたき跡。名業者の場合、これが全音域にアーチ形に残る。

★キ★X★キ★
WAKUWAKU
★通り★

ROSEと
あなたのページです

“ロゼシアターに足を踏み入れ、タピストリーを見ながらホールに至るプロムナードは、何か私をワクワクさせる...” そんなときめくあなたを「WAKUWAKU通り」へご案内します。さあ、私たちと一緒に散策を楽しんでみませんか!

公演を10倍楽しむ法
見どころ・聴きどころ
CD・LD紹介

皆さん、ロゼ・チケットセンターのCD・LDの視聴コーナーをご存じですか? お客様のお好みのCD・LDが無料でお楽しみいただけるんです。そこで、今回はスタッフおすすめのLDを紹介いたします。お立ち寄りの折にはぜひご利用ください。



オペラ「魔笛」

オペラの最高傑作として最も親しまれ、世界中で頻りに上演されているモーツァルトのオペラ「魔笛」。十月二六日にブラハ国立歌劇場によって上演されるロゼシアター初のオペラが「魔笛」。予習のつもりで見てください。

キーロフバレエ
「眠れる森の美女」

「眠れる森の美女」。オペラ姫の美しさや愛らしさが画面いっぱいに繰り広げられる。思わず自分が舞

シリーズ話題のPROFILE
声楽家 萩原明美 さん
を訪ねて

来る九月富士市初の市民参加イタリアオペラ「椿姫」に主役ヴィオレッタで出演の萩原さん。イタリア留学の頃から、いつか必ず富士で仲間や生徒たちと一緒にオペラを演ろうと思っていました。総合芸術といわれるオペラです。一人の力ではとても無理で、今まで具体的にできなかったのが果オペラ協会所属の友人との話から実現となり、ともうれしいですね。

常葉学園橋高・国立音大音楽科卒、1993年3月まで母校の常葉学園橋高で声楽科講師として後進の指導・育成にあたる。同時に二期会オペラスタジオ、声楽家団体ジョイイで研鑽を積み、東京・静岡・富士の各地で多数の演奏会に出演。1991年リリカイタリアーナオペラ特別公演「椿姫」の主役を射止めデビュー。1993年9月国際ロータリー財団親善奨学生としてイタリアのミラノに留学。1995年11月帰国後初のリサイタルをロゼで行い絶賛を博す。1996年9月静岡県オペラ協会主催、富士市民参加オペラ「椿姫」に出演予定。現在、常葉学園短期大学音楽科講師、ジョイイ会員、二期会準会員。



「椿姫」でオペラデビューを飾った彼女「前回の掛川、九月のロゼと三回目ですが、演出家や相手役で感情移入や歌い方が変わるのが難しくもあり、楽しくもありますね。地元には男性歌手が少ないんですが、今回の共演者ジェルモン役の長谷川寛さん(バリトン)は富士宮出身です。合唱の四十余名はすべて富士で公募した方たちで静岡公演にも出演します。原語を覚え、譜読みや練習は大変ですが、地元の人たちと力を合わせ一つ一つのを創り上げていくということは、言葉では表現できない大きな感動となると思います。」

